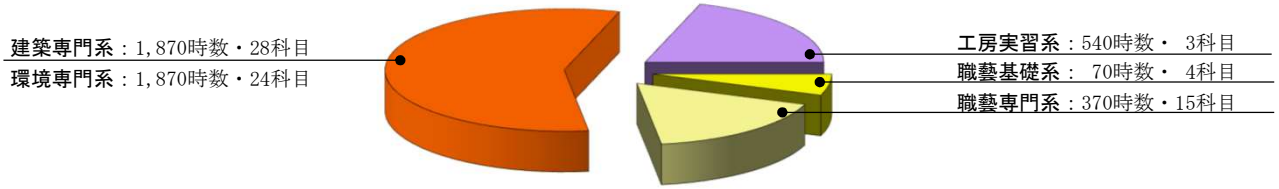
職藝学院［本科 授業概要］

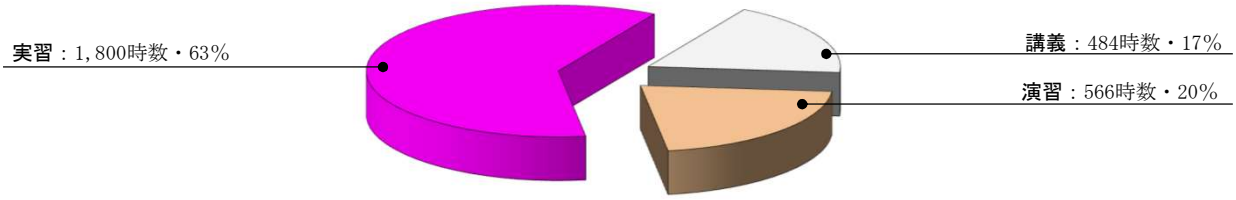
～ マイスタープログラム前期 ～

職藝教育は、「本科＋研究科」の三年制マイスタープログラムで、職藝人としての実践的総合力を身につけます。
マイスタープログラム前期の「本科」では、職藝人としての基礎基本の技能・知識を学びます。

【本科 科目群別授業時間】 ～建築50科目／環境46科目～



【本科 授業時間の構成】 ～計2,850時数・97.5単位～



本科授業科目群の目標

合科	基礎教育科目 **職藝基礎系** 4科目／ 3.5単位(70時数)	**●専門技術や専門知識の修得に魁けて、職藝人に必要な基礎的資質を高めます** 心・技・体のバランスがとれた人格形成に資するため、人間としての生き方、職藝の心、日本文化の特質などについて学びます。
	専門教育科目Ⅰ **職藝専門系** 15科目／18.5単位(370時数)	**●環境･建築の両者に共通する基礎的な専門知識や専門的感性を、合科で学び育みます** 環境と建築の融合と共生のため、「建築がわかる庭師・環境がわかる大工」をめざし、両者の共通専門領域を、総合的な演習を交えながら合科で学びます。
建築職藝科	専門教育科目Ⅱ **建築専門系** 28科目／62単位(1,870時数)	**●職藝基礎系･職藝専門系の合科学習を土台に、建築専門の技術と知識をあわせ学びます** 専門実習では“総合基礎実習→基礎実習→応用実習”と、建築や建具・家具づくりの技能・技術を段階的に学び、専門学科では建築づくりの専門知識を体系的に学びます。
	工房実習科目 **建築工房実習系** 3科目／16単位(540時数)	**●建築や建具･家具のプロの工房で、職藝人の技と心を実践的に身につけます** 実際のものづくり現場において、プロのメニューとプロの時間割とプロの指導により、実物の建築や建具・家具づくりに取り組み、職藝人の技と作法と業について実地に学びます。
環境職藝科	専門教育科目Ⅱ **環境専門系** 24科目／62単位(1,800時数)	**●職藝基礎系･職藝専門系の合科学習を土台に、環境専門の技術と知識をあわせ学びます** 専門実習では“総合基礎実習→基礎実習→応用実習”と、庭園づくりの技能・技術を段階的に学び、専門学科では庭づくり・環境づくりの専門知識を体系的に学びます。
	工房実習科目 **環境工房実習系** 3科目／13.5位(540時数)	**●造園･ガーデニングのプロの工房で、職藝人の技と心を実践的に身につけます** 実際のものづくり現場において、プロのメニューとプロの時間割とプロの指導により、実物の庭づくりや環境整備に取り組み、職藝人の技と作法と業について実地に学びます。

大工と庭師の専門学校
職藝学院
Toyama International College of Crafts & Arts

■建築専門系（建築職藝科）

授業科目		授業	授業時間		授業概要
科目	細科目	形式	単位	時数	
建築史	建築史Ⅰ	講義	2	20	●日本建築史。日本建築における構造・意匠・様式などの特徴について、時代背景を含めて歴史的に概観し、風土や時代と文化とものづくりの関わりあいを考えます。
	建築史Ⅱ	講義		20	●地域の建築文化を理解し、その地域に根差した建築などについて学びます。富山県の建築文化を例に、構造・意匠・様式など地域固有の特徴、時代背景を含めて歴史的に概観し、風土や時代と文化などについて考えます。
建築計画	建築計画Ⅰ	講義	2	20	●建築計画総論。建築づくりのプロセスと、計画・設計の役割およびその意義を知り、安全安心・健康快適・持続可能な建築づくりなどの共通テーマについて木造住宅を例に学びます。
	建築計画Ⅱ	講義		20	●住居計画特論。住まいの歴史や近代化の過程から、現代の住まいを取巻く社会環境を知り、これからの住宅のあり方・つくり方について考えます。
建築環境工学		講義	1	20	●自然エネルギーの活用やその再生循環などを中心に、人間生活に影響を及ぼす主な環境因子と基本的エネルギーの利用法について学びます。
建築設備		講義	1	20	●快適な室内環境を支える建築設備について住宅を例に学びます。併せて、設備設計図の種類と表現、エネルギー活用と省エネルギー等について学びます。
建築法規		講義	1	20	●設計→手続→工事→使用→廃棄という建築の一生に関わる関連法令を、法律制定の主旨・背景を含めて木造建築を例に建築基準法を中心に学びます。
建築構造力学	建築構造力学Ⅰ	講義	3	40	●構造力学基礎。地震・台風・積雪などの外力や自重に対し、安全な建築とする基本である力とその流れ・捉え方・釣り合い、および断面力などについて学びます。
	建築構造力学Ⅱ	講義		20	●木構造力学。木造軸組構法による建築の基本的構造部分の軸組の仕口継手および耐力壁・水平構面などについて、力と変形の関係を知って構造部材の安全な構成法や断面算定法などを学びます。
建築構法材料	建築構法材料Ⅰ	講義	3	20	●建築構法材料概論。木造在来軸組構法を中心に、建築全体を支える主体構法の概要と主要材料の基礎知識を学びます。
	建築構法材料Ⅱ	講義		20	●建築構法材料概論。鉄筋コンクリート造・鉄骨造を中心に、建築全体を支える主体構法の概要と主要材料の基礎知識を学びます。
	建築構法材料Ⅲ	講義		20	●木造軸組構法・材料。伝統ある日本の木造軸組構法について、その変遷を知り、架構構成や木組みの考え方および仕口・継手の用法などについて学びます。
建築施工	建築施工Ⅰ	講義	3	20	●一般建築工事。一般建築工事について、構法別にその工種別施工内容と手順および品質管理について学びます。併せて、安全衛生管理や工程管理について学びます。
	建築施工Ⅱ	講義		20	●木造建築工事。木造住宅工事の施工方法・品質管理と安全管理・工程管理について学びます。併せて、遣り方実習などを実地に行います。
	建築仕様積算	演習		20	●建築積算の意義と価格決定の仕組み及び仕様と積算や見積書式の関係を知り、木工事等の積算手順と計測計算・集計などの積算法を課題演習を交えて学びます。
建築安全衛生作業法		講義	1	20	●主な木工機器の構造と安全装置とその操作法、及び建築や木工現場における安全対策・災害防止を含む安全衛生作業の基礎について学びます。
規矩術	規矩術Ⅰ	演習	2.5	20	●日本建築規矩術の歴史と曲尺使用法を知り、木造建築の木取りと基本的仕口・継手の墨付・加工・組立を棒隅棟製作などの課題演習で学びます。
	規矩術Ⅱ	演習		30	●日本の名建築などの模型製作の墨付・加工・組立を演習課題とし、日本建築規矩術の基本的技法とその応用を学びます。
建築設計製図	建築設計Ⅰ	演習	8	40	●設計の進め方を学びます。小住宅の設計演習を通じ、設計条件の考え方・生活と空間と架構の関係などを学び、併せて建築製図の表現力とスケール感覚の訓練を行います。
	建築設計Ⅱ	演習		80	●木造軸組構法による住宅設計を学びます。生活と内外空間及び周辺環境が整合する“住まい”、住まいと景観･風景とが調和する“街なみ”について、課題演習を通じて学びます。
	建築設計Ⅲ	演習		40	●卒業製作のための設計。本科２年間の集大成として指定課題に取り組み、製作図作成から木拾い積算及び工程計画までの一連の内容を学びます。そして「建築応用実習Ⅱ」において実地に製作します。
建築演習	建築演習Ⅰ	演習	3	30	●建築構法設計演習。木造軸組構法の構造と木組みの考え方を学び、構造図で表示すべき事項とその描き方を課題演習により学ぶ。
	建築演習Ⅱ	演習		30	●建築実務基礎演習。職藝人の実務において用いられる建築と家具・建具の関係図面の見方・考え方とその製図法など、実施設計基礎を学びます。
建築総合基礎実習		実習	4	160	●建築職藝科共通実習。 鑿・鉋を中心に木工道具の手入れと扱い方の基本を学びます。併せて木工作業の基礎的仕口・継手などの木組みの工作法を学びます。
建築基礎実習	建築基礎実習Ⅰ	実習	5.5	220	●建築コース。 木造建築伝統工法で用いる代表的仕口・継手の工作法とその構造知識を実習で身につけます。併せて造作の基本工作法を学びます。 ●家具･建具コース。 家具・建具で用いる“指物”の基本技能を学ぶ。木取り、墨付・工作・組立法などを基本を網羅した家具･建具製作により身につける。
	建築基礎実習Ⅱ	実習	2	80	●進級製作。１年次に習得した工作技術と知識を用いて指定課題の製作を行います。年度末の進級制作展に公開展示して一般の評価を仰ぎます。
建築応用実習	建築応用実習Ⅰ	実習	17	680	●建築コース。木造建築の木づくりから建方・造作までの建築大工に必要な木工作業手順全般について、地域から提供される実物教材を中心に実践的に学びます。 ●家具･建具コース。家具は、木製家具の製作図作成から木取り・加工製作・組立仕上・取付までの家具製作全般について、地域から提供される実物教材を中心に実践的に学びます。建具は、基本建具の工作技術を段階的に身につけ、併せて木取り・加工製作・組立仕上・建込までの建具製作全般を実物教材で実践的に学びます。
	建築応用実習Ⅱ	実習	3	120	●卒業製作。「建築設計製図Ⅲ」における自らの設計をもとに卒業製作を行い、本科２年間の集大成とします。年度末の卒業制作展に公開展示して一般の評価を受けます。

■建築工房実習系（建築職藝科）

授業科目		授業	授業時間		授業概要
科目	細科目	形式	単位	時数	
建築工房実習Ⅰ		実習	5	90	●建築職藝科共通の校内工房における集中実習。職藝学院マイスターの職藝校内工房を実務現場とし、合コースでの「建築総合基礎実習」と連携する集中実習で学びます。
				110	●校内工房における専攻コース別集中基礎実習。職藝学院マイスター等の指導による職藝校内工房を実務現場とし、専攻コース別に「建築基礎実習Ⅰ」と連携する集中実習で学びます。
建築工房実習Ⅱ		実習	6.5	260	●建築職藝科専攻コース別集中応用実習。職藝学院マイスター等の校内工房を実務現場とし、「建築応用実習Ⅰ」と連携する集中実習で、実物の木造建築や建具･家具づくりの製作･取付･完成までを学びます。
建築工房実習Ⅲ		実習	2	80	●校外工房実習。学外の大工・工務店や建具･家具工房などへ専攻コース別に出向し、プロの校外講師の指導の下で実務技能や職人としての基本的生活態度などを実践的に学びます。

■環境専門系（環境職藝科）

授業科目		授業	授業時間		授業概要
科目	細科目	形式	単位	時数	
庭園史		講義	1	20	●日本庭園の様式と自然環境・文化的背景の関わりあいを時代変遷の中で学び、現代における庭園様式との関係を考える。
庭園計画	庭園計画Ⅰ	講義	3	40	●庭園づくりにおける設計計画の意義を知り、その進め方と調査や分析すべき項目・内容など、設計計画上の基本的知識と技術について学びます。また庭園構成、樹木配置や石組みなどを実際の造園作品で研究します。
	庭園計画Ⅱ	演習		20	●ガーデニングの設計計画の意義を知り、必要な調査項目を分析し、庭のデザイン手法・花や緑の配植方法等について、演習を交えて宿根草を中心に学びます。
庭園材料	庭園材料Ⅰ	講義	4	60	●庭園植物系材料。庭園工事や花壇工事における樹木系及び草本系植物材料の種類・分類・特性・規格・流通・選定法などを学び、設計デザインや施工時における適切な選択能力を養います。
	庭園材料Ⅱ	講義		20	●石材などの庭園材料。造園工事における自然石・加工石材・石造品などの石材等について、名称・分類・特性、用途と利用法などを学びます。
庭園施工	庭園施工	講義	5	20	●庭園工事において必要な植栽工・石工・水景工・垣工などについて、その基本的施工手順と施工方法について学びます。
	日本庭園技法	講義		40	●日本庭園における様々な伝統的表現技法と施工技法について、その歴史的背景を含めて学び、造園施工の理解を深めます。
	庭園測量	演習		20	●造園設計や造園工事に必要な測量法について、実地の調査や測量を行い、その実測図作成を行うことにより学びます。
	庭園仕様積算	演習		20	●造園工事の設計・施工に関わる積算の意義を知り、材料・仕様・施工法を理解して、工事費の構成・歩掛り等を含む積算法を演習中心に学びます。
庭園法規		講義	1	20	●造園工事や環境整備工事における安全対策・災害防止を含む必要な関係法令の基礎を学び、環境と緑についての認識を深めます。
庭園管理		講義	2	40	●植物の適応・特性と自然との関わりを通して植物の生態を知り、様々な場面における庭園管理の方法を学びます。
生態環境	植物生理生態	講義	3	20	●樹木や地被類・花苗などの生理･生態を知り、庭の特性を表現する中に、それらの知識を活用する方法を学びます。
	環境生物生態	講義		20	●地形や施設等の物理的条件・気象条件と生息する生物との関係など、様々な地域条件の捉え方と対応法を学び、環境条件に適合した庭づくりの総合企画力を養います。
	環境自然生態	講義		20	●野外の植物生態系を含む自然観察の仕方及び環境条件の読み取り方を知り、庭をつくる際に必要な植物の生態的な知識を学びます。
環境設計製図	環境設計Ⅰ	演習	8	40	●庭園設計の目的と意義を理解し、そのプロセスと設計図書の基礎図法について課題演習を通じて学びます。併せて、スケール感覚を養います。
	環境設計Ⅱ	演習		80	●生活と建築と景観の関わりなども含めながら、作庭設計計画法及びランドスケープデザイン法とその進め方を課題演習を通じて学び、併せて造園図面の表現法を深めます。
	環境設計Ⅲ	演習		40	●卒業製作のための設計。本科２年間の集大成としてモデル庭園の設計を競作し、グループで積算・工程計画までを含む実施設計をまとめあげます。そして「環境応用実習Ⅱ」において実地に製作します。
環境演習	環境演習Ⅰ	演習	3.5	40	●造園設計演習。庭と建築の関係、庭を構成する植栽・石組などについて、住宅庭園を中心とする演習課題を通じて学びます。
	環境演習Ⅱ	演習		30	●ガーデニング設計演習。花卉園芸植物を用いた花壇を設計する場合の必要な基礎知識について、実際の具体的花壇における一連の設計プロセスを通じて学びます。
環境総合基礎実習		実習	5	200	●環境職藝科共通実習。造園・園藝技術の基本である庭園道具の使い方と基本動作を実際の作業を通して身につけます。併せて、石組・植栽の基本について実習を通じて学びます。
環境基礎実習	環境基礎実習Ⅰ	実習	4	160	●造園系・ガーデニング系共通実習。庭園施工における根廻し・移植・剪定整枝・雪吊等、及び宿根草・１年草と庭木の繁殖方法と花壇づくりの基本技術と知識を身につけ、併せて施工機械の操作・使用法を学びます。
	環境基礎実習Ⅱ	実習	2	80	●進級製作。１年次に修得した技能と知識を用いて坪庭製作を行い、それを年度末の進級制作展に公開展示して一般の評価を仰ぎます。
環境応用実習	環境応用実習Ⅰ	実習	17.5	700	●造園系では、造園施工・管理に必要な知識･技能について、住宅庭園等の実物教材を中心に学びます。併せて、３級造園技能士検定の実技演習に取り組みます。ガーデニング系では、花を中心とした庭づくりと管理に関する応用技能と知識を実物教材を用いて学び、併せて３級園芸装飾技能検定の実技演習に取り組みます。
	環境応用実習Ⅱ	実習	3	120	●卒業製作。「環境設計製図Ⅲ」における自らの設計を、資材調達・コスト管理まで含めて行い２年間の集大成とします。卒業制作展に公開展示して一般の評価を受けます。

■環境工房実習系（環境職藝科）

授業科目		授業	授業時間		授業概要
科目	細科目	形式	単位	時数	
環境工房実習Ⅰ		実習	5	200	●環境職藝科集中基礎実習。職藝学院マイスター等の指導による職藝校内工房を実務現場とし、「環境総合基礎実習」と連携する集中実習で学びます。
環境工房実習Ⅱ		実習	4.5	180	●環境職藝科集中応用実習。職藝学院マイスター指導の職藝校内工房を実務現場とし、「環境応用実習Ⅰ」と連携する集中実習で学びます。実際の庭園づくりや庭園管理などを実物教材として集中的に学びます。
環境工房実習Ⅲ		実習	4	160	●学外の庭師・ガーデナー・造園会社などへ専攻コース別に出向し、プロの校外講師の指導の下で、実務技能や職人の基本的生活態度などを実践的に学びます。

■職藝基礎系（合科）

授業科目		授業	授業時間		授業概要
科目	細科目	形式	単位	時数	
職藝の理念	職藝概論	講義	2.5	16	●［A］オリエンテーション。職藝学院の学修と評価システム･授業などの概要と心構えを周知します。
		講義		10	●［B］マイスター講話。建築･家具･建具や造園･園藝ガーデニングのプロ職人等から職藝人像を学びます。
	職藝の理念	講義		8	●［A］職藝学院創設の基本理念と目的及び開学後の歩みを知り、生涯を職藝人で生きる意義を考えます。
		講義		16	●［B］四季の職藝人儀式への参列や役割作法の体験を通じて職藝の理念を実地に考えます。
職藝基礎	安全教育	講義	1	10	●職藝初心者として、校内および校外工房で道具および設備を安全に使うための基本的要目を手ほどきする。
	情報基礎	講義		10	●講義や演習を履修していく上で必要なコンピュータ利用技法を学びます。

■職藝専門系（合科）

授業科目		授業	授業時間		授業概要
科目	細科目	形式	単位	時数	
庭園概論		講義	1	20	●日本と西欧（英国）の庭園について、その時代背景を含めて歴史的に考察し、両者の庭園観と庭園づくりの相違について比較・考察します。
建築概論		講義	1	20	●建築の意匠・構造・表現法や建築と庭園、建築とまち並みなどの見方を学んでそれぞれの魅力を知り、職藝人の基礎知識とします。
インテリア概論		講義	0.5	10	●生活と室内空間の関係を知り、家具と建具と建築、インテリアとエクステリアの相互関係について、住宅などを中心に考察します。
植物木材概論		講義	2	40	●職藝人として手仕事に生かせる植物・樹木と木材・木質材料などについて、観察法及び利用法などの基礎的かつ実務的な力を養います。
デザイン基礎		演習	1	20	●造形の抽象模型制作を通して、カタチの持つ意味を探りながら、創造力・発想力・表現力等の基本要素を身につける。デザイン感覚の向上を目指す。
設計基礎	基礎製図	演習	4	40	●職藝人に必要な基本的な設計図の種類と役割を知り、その図示ルールと製図法・読図法について、製図演習を通じて学びます。
	ＣＡＤ演習	演習		40	●コンピューター活用の歴史からＣＡＤ･ＣＧと職藝人の関わりについて考え、汎用ＣＡＤの仕組みとその基本操作を建築・環境の課題演習を通じて学びます。
測量基礎		演習	1	20	●建築や作庭作業において、主に使用する測量器械の扱い方と、距離測量・平板測量・水準測量・多角測量などの測量法基礎を演習を通じて学びます。
特別講義		講義	1	20	●職藝の理念に連なる環境と建築に関わるテーマについて、内外の特別講師から学ぶ。「茶道空間入門」、その他。
合科ワークショップ		演習	3.5	70	●建築と環境の合科チームが実践的課題について討議・設計製図・模型製作・発表などで競作し、環境と建築を互いにわかりあう職藝人の在り方を学びます。
実践道場	川上川下実習	演習	2	15	●建築や庭づくりの様々な分野や場面を見学・体験し、ものづくりの現況と将来について視野を広めます。
	世界遺産実習	演習		9	●世界遺産の富山県五箇山地方の合掌造りの茅葺きを体験し、合掌造りの構法・集落について学びます。
	人と土の日	演習		16	●ヒューマニティの“hum－”は“土”を語源とします。土や自然と触れ合いながら人の原点を考えます。
作品研究		演習	1.5	30	●●歴史的な社寺や町屋及び庭園などを見学研修し、日本の伝統的職人技とその心を学ぶと共に、本物の建築と庭を観る眼を養います。